令和２年度　学校教育目標等

教育局	宗　　谷	学　校	北海道　浜頓別　高等学校	課　程	全日制　課程

学　校　教　育　目　標

１　学力・体力をつくるとともに、 情操を培う。
２　開拓者精神を受け継ぎ、創意工夫の実行力を養う。
３　明るく、楽しい社会の形成者としての資質を養う。

１　育成を目指す資質・能力

生徒の興味・関心や適性の伸長を図り、課題解決に資する能力を育むとともに、生徒の社会的な自立に必要な知識・技能を習得し、本校が教育の核に据える地域連携を重視したキャリア教育の推進を通して、自他や郷土を愛し、地域創生の中核を担う人材を育成していく。
（１）基礎基本となる知識技能の習得と課題解決能力の育成を図り、主体的に学ぶ態度を養う。
（２）多様な体験活動を通し、生徒の社会性や協調性を育み、生徒の自己有用感の醸成を図る。
（３）社会的な自立及び地域創生に資する人材育成に向け、生徒の勤労観・職業観を構築する。

２　重　　点　　目　　標

心身ともに健康で、目標達成に向かって主体的・協働的に判断・行動できる生徒を育む。
（１）学習に取り組む意欲・態度の涵養を図るとともに、社会貢献に資する有益な人材を育む。
（２）自他を尊重・敬愛する視点を持ち、基本的生活習慣の確立を図り、自己管理能力を育む。
（３）進路目標を定め、情報収集・活用を通じ、自己実現に向け粘り強く取り組む姿勢を育む。

３　教育課程編成の方針

（１）基礎基本の定着と自ら学ぶ態度、思考力・表現力の育成に向け、能力別授業編成を行う。
（２）生徒の適性・能力の伸張に応じて、自己実現を支援するための多様な選択群を開設する。
（３）教科等横断的な視点から体験的な学びの構築を推進するとともに、不断の見直しを図る。

４　指導上の重点事項

学習指導	・主体的･対話的で深い学びの推進に向け、授業改善及び評価方法の工夫を推進する。 ・家庭学習習慣化の定着に向け、身近な目標を設定し、自学自習を促す取組を推進する。 ・高大接続改革や新学習指導要領を踏まえ、ICT活用等の研究活動を積極的に推進する。
生徒指導	・生徒を中心に据え､学校･家庭･地域が連携し､生徒理解による共感的な指導を実践する。 ・ＨＲ活動や生徒会･部活動等の活性化により、規範意識や社会性･協調性の醸成を図る。 ・礼節を弁え人権を尊重し、いじめ防止の観点から、徹底した未然防止活動を推進する。
進路指導	・総合的な探究の時間の活用により、キャリア教育を核に望ましい職業観の育成を図る。 ・地域や関係機関との連携により、進路情報を収集活用し効果的な体験活動を推進する。 ・多様な生徒の進路希望や能力･適性を踏まえ､社会人基礎力向上を図る取組を実践する。
健康・安全指導	・健康や性に関する知識の深化を図り、自己管理能力を高める指導の拡充を推進する。 ・自然災害や交通安全等に係る防災･安全意識の啓蒙を図り、自他の生命の尊重の観点から、危機管理に関する対応が適切に、実効性の高いものとなるよう指導を改善する。 ・教育相談や特別支援教育に対する理解を深め、個に寄り添う指導を組織的に実践する。

注　用紙の大きさは、日本工業規格Ａ列４番縦型とする。